

●実務経験のある教員等による授業科目

音楽ビジネス科

コンサート・ライブスタッフコース

| | 科目 | 1年 | 2年 | 必修の別 | 授業形式 | 実務経験の有無の別 | 実務経験授業の時数 |
|---------|-------------------|------|-----|------|------|-----------|-----------|
| 全科共通科目 | SHOW!音楽エンタテイメントゼミ | 51 | 51 | 必修 | 講義 | ○ | 102 |
| | デビュー・就職実務Ⅰ | 80 | | 必修 | 講義 | | - |
| | デビュー・就職実務Ⅱ | | 53 | 必修 | 講義 | | - |
| | 著作権 | | 19 | 必修 | 講義 | | - |
| | PC実習 | 54 | | 必修 | 講義 | | - |
| | 選択授業 | 36 | 36 | 必修 | 講義 | | - |
| | 異文化研究 | 20 | 20 | 必修 | 講義 | | - |
| | イベント制作実習A | 141 | 126 | 必修 | 実習 | ○ | 267 |
| | イベント制作実習B | 283 | 288 | 必修 | 実習 | ○ | 571 |
| 専門科目 | デザイン実習Ⅰ | 36 | | 必修 | 実習 | | - |
| | 番組制作実習 | 36 | | 必修 | 実習 | ○ | 36 |
| | 舞台機構調整技能Ⅰ | 34 | | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | SNSマーケティング | 34 | | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | ライブマーケティングⅠ | 34 | | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | ビジネス経営学 | 51 | | 必修 | 講義 | | - |
| | イベント企画制作実習 | 17 | 34 | 必修 | 実習 | | - |
| | デザイン実習Ⅱ | | 36 | 必修 | 実習 | | - |
| | メディアプロモーション | | 36 | 必修 | 実習 | | - |
| | 地方創生論 | | 34 | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | ライブマーケティングⅡ | | 34 | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | 雑誌編集・情報発信基礎 | | 34 | 必修 | 実習 | ○ | 34 |
| | デジタルマーケティング | | 34 | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | | | | | | | - |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| 合計 | 総授業時間数 | 907 | | | | | |
| 合計 | 総授業時間数 | | 835 | | | | 合計 |
| 卒業時最少時間 | | 1742 | | | | | 1214 |

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

フォントは「MS Pゴシック」
フォントサイズは11でお願いします

| | | | | |
|------|--------------------|--------|---------|-------|
| 科目名 | SHOW!音楽エンタテインメントゼミ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 山本雄太(コーディネーター) | 講義実施時期 | 前期・後期 | |
| | | 必修・選択 | 必修 | |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | 対象コース | 全コース | |

赤色の網掛けは、
プルダウンから選択してください。

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。 |
|------|---|

「授業概要」について

- ①その授業の全体像
- ②主な内容
- ③授業の到達目標
- ④その他重要事項

などを書いていただき、この授業を受けていない人が読んだとしても、科目の全貌が理解できるようかけてください。

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『ポピュラー音楽の歴史的な移り変わりについて』 ②ポピュラー音楽初期の名曲鑑賞。 |
| 2 | ①メインテーマ『大正時代から昭和の初期(戦前まで)の名曲鑑賞』 ②歌詞の意味についての考察。 ③時代背景を踏まえた、この時代の社会問題等についての解説。 |
| 3 | ①メインテーマ『テレビCMの誕生から現在まで』 ②歴史的な名作CMを実際の映像にて鑑賞。 ③「これまでに最も印象に残っているCM」というテーマでディスカッション。 |
| 4 | ①メインテーマ『クラシック音楽』 ②誰もが知っているクラシック音楽を鑑賞。「何に使われていたでしょうクイズ」 ③クラシック界が抱える問題と、その解決についてレポートをまとめる(次回授業開始時に提出) |
| 5 | ①メインテーマ『ショートムービーの世界』 ②秀作ショートムービーを鑑賞し、短時間で映像表現について、考える。 ③上記②の作品についてのレポート制作(次回授業開始時に提出) |
| 6 | ①メインテーマ『妙な音楽』 ②奇妙な音楽を聴き、その作者がその作品に込めた「想い」や「狙い」について考察する。 ③本日聴いた音楽に関するレポート作成(当日、授業終了後に提出) |
| 7 | ①メインテーマ『ジャニーズ事務所』 ②ジャニーズ事務所の光と闇について、同事務所の歴史的変遷を交えて解説する。 ③ジャニー喜多川後の、ジャニーズ事務所を考える(次期社長や今後の展開についての独自の解釈)。 |
| 8 | ①メインテーマ『映画(映像)と音楽』 ②映画(映像)とともにある音楽について考え、その成り立ちを理解する。 ③印象的に使われている「映画(映像)&音楽」に触れ、ディスカッションを行う。 |
| 9 | ①メインテーマ『ヴィジュアル系』 ②ヴィジュアル系の過去と現在を把握し、何故海外で支持されるに至ったのかを検証する。 ③元祖ビジュアル系と、NEOビジュアル系、そして未来のヴィジュアル系についての考察。 |
| 10 | ①メインテーマ『これから来る！音楽エンタテインメントについて』 ②このテーマについて、全員でディスカッション。何故、「来る」と感じているのかも含めて発表。 ③全11回の授業についての感想レポートと、授業アンケート。 |

「授業計画」について

初回には、必ずその科目の趣旨や全体像、到達目標などについてのガイダンスを行ってください。

①②③と箇条書きにしているのは一例です。
普通の文章で内容を説明しても結構です。

PCも機種にもよりますが、
「Alt」を押しながら「Enter」を押すと、改行できます。

授業の回数によって行の追加・削除や行の高さを変更してください。

※これは例ですので、実際のSHOW!ゼミの授業計画ではありません。

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | コンサートプロモーターとして15年音楽業界に従事 |

「成績評価」について

何をどのような割合で評価するのか明確にしてください。
●●が▲%、■■が★%で評価する。
などです。

また、「成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。」は必ず入れてください。

「実務経験教員の経歴」について

「実務授業の有無」に○がついた講師の経歴を入力ください。
授業科目に関連する実務経験であることが必要です。

文部科学省からの通達↓
教員が担当する授業科目に関連する実務経験であることが必要であるが、これを満たしていれば、実務経験の具体的な内容については問わない。従って、どのような組織や場所における実務経験であっても差し支えないし、どのような期間の実務経験であっても差し支えない。ただし、他の大学等における教員としての勤務経験は、原則として「実務経験」には該当しないことに注意すること。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | SHOW!音楽エンタテインメントゼミ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 51 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 2 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 3 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 4 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 5 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 6 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 7 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 8 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 9 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 10 | 後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 11 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 12 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 13 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 14 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 15 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 16 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 17 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |

| | |
|---------------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／遠隔授業のみ実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | 各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイバックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|-------|
| 科目名 | デビュー・就職実務 I | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 80 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPPを使用したの授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について |
| 2 | 社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ |
| 3 | 第1編1章 メールについて① |
| 4 | 第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方① |
| 5 | 第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明 |
| 6 | 第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明 |
| 7 | 第2編1章 コミュニケーション、敬語 |
| 8 | 第2編2章 コミュニケーション、敬語 |
| 9 | 第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ |
| 10 | 第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 11 | 第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 12 | 第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導 |
| 13 | ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 14 | ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 15 | 履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出 |
| 16 | 履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出 |
| 17 | 第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 18 | 後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出 |
| 19 | 就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導 |
| 20 | 就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | <p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p> |
| 成績評価 | <p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | デビュー・就職実務Ⅱ | | 実務授業の有無 | x |
| 担当講師 | 永島 麻耶 (コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 53 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作もを行いプロ活動につなげて行く。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | <p>アーティスト志望:【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。</p> <p>就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。</p> |
| 2 | <p>アーティスト志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談</p> |
| 3 | <p>アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成</p> <p>就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)</p> |
| 4 | <p>アーティスト志望:プロフィールシートの提出</p> <p>就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出</p> |
| 5 | <p>アーティスト志望:プロフィールシートの添削フィードバック</p> <p>就職志望:履歴書・必要書類の添削フィードバック</p> |
| 6 | <p>アーティスト志望:①【活動報告書】の作成と提出</p> <p>就職志望:①【活動報告書】の作成と提出</p> |
| 7 | <p>アーティスト志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> |
| 8 | <p>アーティスト志望:オーディション対策(自己PRの練習)</p> <p>就職志望:面接対策(自己PR、志望動機の練習)</p> |
| 9 | <p>アーティスト志望:個別面談・フィードバック</p> <p>就職志望:個別面談・フィードバック</p> |
| 10 | <p>アーティスト志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など</p> <p>就職志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など</p> |
| 11 | 「コミュニケーション検定」補講・検定 |
| 12 | <p>アーティスト志望:②【活動報告書】の作成と提出</p> <p>就職志望:②【活動報告書】の作成と提出</p> |
| 13 | <p>アーティスト志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> |
| 14 | <p>アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成</p> <p>就職志望:②面接対策(自己PR、志望動機の練習)</p> |
| 15 | <p>アーティスト志望:プロフィールシートの提出</p> <p>就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)</p> |
| 16 | <p>アーティスト志望:③【活動報告書】の作成と提出</p> <p>就職志望:③【活動報告書】の作成と提出</p> |
| 17 | <p>アーティスト志望:③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望:③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> |
| 18 | <p>アーティスト志望:プロフィールシートの提出</p> <p>就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | なし |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | 著作権 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 梅川 洗平 | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、DVD視聴&解説 |
| 2 | X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 3 | II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 4 | IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 5 | VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 6 | VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 7 | 模擬問題①②の実施及び解説 |
| 8 | 模擬問題③④の実施及び解説 |
| 9 | 模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | PC実習 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 54 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施 |
| 2 | テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①② |
| 3 | 模擬試験①～③ |
| 4 | 模擬試験④～⑥ |
| 5 | 模擬試験⑦、サンプル問題 |
| 6 | Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施 |
| 7 | テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①② |
| 8 | 模擬試験①～③ |
| 9 | 模擬試験④～⑥ |
| 10 | 模擬試験⑦、サンプル問題 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | <p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p> |
| 成績評価 | <p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|-------|
| 科目名 | 選択授業 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 36 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる |
| 2 | 各科目による |
| 3 | 各科目による |
| 4 | 各科目による |
| 5 | 各科目による |
| 6 | 各科目による |
| 7 | 各科目による |
| 8 | 各科目による |
| 9 | 前期評価 各科目による |
| 10 | 後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる |
| 11 | 各科目による |
| 12 | 各科目による |
| 13 | 各科目による |
| 14 | 各科目による |
| 15 | 各科目による |
| 16 | 各科目による |
| 17 | 各科目による |
| 18 | 後期評価 各科目による |

| | |
|---------------|--|
| 教科書等 | ※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | ※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | 異文化研究 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 20 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|-----------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション チーム分け 研究国決定 |
| 2 | 研究① PP作成 |
| 3 | 研究② PP作成 |
| 4 | 研究③ PP作成 |
| 5 | 各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習A | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 141 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 13 | 本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 14 | 本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 15 | フィードバック・反省会 |
| 16 | |
| 17 | |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習B | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 283 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①) |
| 15 | 各専攻ステージ制作 |
| 16 | 各専攻ステージ制作 |
| 17 | 各専攻ステージ制作 |
| 18 | 各専攻ステージ制作 |
| 19 | 各専攻ステージ制作 |
| 20 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②) |
| 21 | 各専攻ステージ制作 |
| 22 | 各専攻ステージ制作 |
| 23 | 各専攻ステージ制作 |
| 24 | 各専攻ステージ制作 |
| 25 | 各専攻ステージ制作 |
| 26 | 各専攻ステージ制作 |
| 27 | 各専攻ステージ制作 |
| 28 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①) |
| 29 | 各専攻ステージ制作 |
| 30 | 各専攻ステージ制作 |
| 31 | 各専攻ステージ制作 |
| 32 | 各専攻ステージ制作 |
| 33 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②) |
| 34 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③) |
| 35 | 各専攻ステージ制作 |
| 36 | 各専攻ステージ制作 |
| 37 | 各専攻ステージ制作 |
| 38 | 各専攻ステージ制作 |
| 39 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 40 | 各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ) |
| 41 | 各専攻ステージ制作(本番) |
| 42 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習A | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 126 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 13 | 本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 14 | 本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 15 | フィードバック・反省会 |
| 16 | |
| 17 | |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習B | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 288 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①) |
| 15 | 各専攻ステージ制作 |
| 16 | 各専攻ステージ制作 |
| 17 | 各専攻ステージ制作 |
| 18 | 各専攻ステージ制作 |
| 19 | 各専攻ステージ制作 |
| 20 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②) |
| 21 | 各専攻ステージ制作 |
| 22 | 各専攻ステージ制作 |
| 23 | 各専攻ステージ制作 |
| 24 | 各専攻ステージ制作 |
| 25 | 各専攻ステージ制作 |
| 26 | 各専攻ステージ制作 |
| 27 | 各専攻ステージ制作 |
| 28 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①) |
| 29 | 各専攻ステージ制作 |
| 30 | 各専攻ステージ制作 |
| 31 | 各専攻ステージ制作 |
| 32 | 各専攻ステージ制作 |
| 33 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②) |
| 34 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③) |
| 35 | 各専攻ステージ制作 |
| 36 | 各専攻ステージ制作 |
| 37 | 各専攻ステージ制作 |
| 38 | 各専攻ステージ制作 |
| 39 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 40 | 各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ) |
| 41 | 各専攻ステージ制作(本番) |
| 42 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------------|---|---------|--------------------------------|
| 科目名 | デザイン実習Ⅰ | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 中野和音/塩田美月 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 36 時間 |
| 対象学科 | K-POPエンタテインメント科 | | 対象コース | K-POPEジネスコース/オンラインK-POPEジネスコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ①【基本操作】Adobeソフトについて |
| 2 | ②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて |
| 3 | ③【基本操作】Illustrator基本操作の実践 |
| 4 | ④【基本操作】Illustrator基本操作の実践 |
| 5 | ⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践 |
| 6 | ⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 7 | ⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 8 | ⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 9 | ⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 10 | ①【デザイン】演習問題 |
| 11 | ②【デザイン】演習問題 |
| 12 | ③【デザイン】演習問題 |
| 13 | ④【デザイン】演習問題 |
| 14 | ①【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 15 | ②【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 16 | ③【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 17 | ④【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 18 | ⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 19 | ⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | IllustratorクイックマスターCC・問題集 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------------|--------|---------------------------|----|
| 科目名 | ラジオ番組制作実習 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | (株)BSNウェブ 島澤弘晃 / 齋藤希 | 講義実施時期 | 前期・後期 | |
| 対象学年 | 1 | 年 | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | 対象コース | 36 | 時間 |
| | | | コンサート・ライブスタッフ 芸能マネージャーコース | |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | ラジオ番組の制作を通し、企画立案力・制作力・ゲストブックイング・業界体験・プロモーション力を学ぶ。 メンバーソナリティに吉本住みます芸人「いっすねー！山脇」氏を起用。 制作した番組はBSNラジオで「GGラジオ」として毎月最終日曜日25時～26時に放送します。 毎月番組のテーマに沿って企画・構成・制作、出演ブックイング等をセクションごとに分け、運営を行う。 通常授業時間外であっても、番組の制作活動は進行する。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 授業の趣旨・意義・ラジオ媒体と放送業界の説明。 ①講師自己紹介 ②ラジオ業界について ③番組制作という仕事について ④制作スケジュール説明 |
| 2 | ①新2年生からの引き継ぎ ②各担当者決定。収録準備（スタジオ使用方法等） |
| 3 | 先輩制作番組の確認、感想。GW前、説明と課題提示。①収録準備（スタジオ使用方法等）②ゲストブックイング 内容：番組紹介（中井佑香ライブ告知等） |
| 4 | GW明け 5月分収録原稿作成、実践～指導 |
| 5 | ①5月分 番組収録 |
| 6 | ①5月分検聴&反省会 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導 |
| 7 | ①6月分搬入作業 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導 ④7月分番組内容決定～原稿作成。 6月後半～8月末までのスケジュール説明。9月後期授業開始にあたっての説明と課題提示。 |
| 8 | ①前期授業の振り返り ②番組新企画案発表 ③後期授業説明 ④10月分原稿確認 |
| 9 | ①10月分収録～編集課題 ②11月内容ミーティング |
| 10 | ①10月分チェック～搬入 ②11月分企画会議 ③原稿チェック |
| 11 | ①11月分番組内容決定 ②原稿作成 ③チェック&修正 |
| 12 | ①11月分収録 ②編集講座 |
| 13 | ①11月分反省会 ②編集課題確認 ③12月分内容ミーティング |
| 14 | ①グラコン向け PRO TOOLS素材作り講座 ②グラコンプロモーション企画会議 ③原稿確認 |
| 15 | ①12月分収録 / 1月分内容ミーティング |
| 16 | ①12月分編集課題確認 ②番組搬入 |
| 17 | ①業界就職についてのディスカッション |
| 18 | ①1月分編集課題確認 ②収録 ③番組搬入 ②2月分編集課題確認 ②収録 ③番組搬入 評価 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | 教科書は使用せず。ホワイトボード、PC画面投影等で行う。 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 2000年より都内でラジオ番組制作を担当、各番組制作、各種イベント企画・制作・運営を行い25年目を迎える。 2020年6月まではFM PORTにて。FM PORT閉局後はBSNウェブに移籍しBSN新潟放送の各ラジオ番組を担当。 趣味が高じてアウトドア専門番組の立ち上げ、2023年には津南町でのキャンプフェス「山とWANDER」、 2024年には柏崎で開催したキャンプ&野外音楽祭「森ゆるる」の立ち上げ運営なども担当。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | 舞台機構調整技能Ⅰ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 野本 展希 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。 後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について |
| 2 | 学科試験対策(1. 舞台一般) |
| 3 | 学科試験対策(2. 音響機構調整法) |
| 4 | 学科試験対策(2. 音響機構調整法) |
| 5 | 学科試験対策(3. 電気) |
| 6 | 学科試験対策(4. 関係法規) |
| 7 | 学科試験対策(5. 安全衛生) |
| 8 | ヒアリング試験(判断等試験)対策(楽器の名称、音について) |
| 9 | まとめ(不足箇所重点) |
| 10 | 音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る) |
| 11 | 音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等) |
| 12 | 照明基礎① 基礎実習(機材説明、シユート、オペレート) |
| 13 | 楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説 |
| 14 | LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成 |
| 15 | リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル |
| 16 | LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハー本番→バラシの一連の流れをやってみる LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う |
| 17 | 1年まとめ 感想レポートと授業アンケート |
| 18 | |
| 19 | |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | <p>公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施</p> |
| 成績評価 | <p>前期:試験結果:60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40% 後期:技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | | |
|------|---------------------------|---|---------|-------|----|
| 科目名 | SNSマーケティングⅠ | | 実務授業の有無 | ○ | |
| 担当講師 | MAD PRODUCTION(石村・五十嵐・中西) | | 講義実施時期 | 前期・後期 | |
| | | | 必修・選択 | 選択必修 | |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 34 | 時間 |
| 対象学科 | 映像デザイン科 | | 対象コース | | |

| | |
|------|--------------------------------|
| 授業概要 | SNSのトレンドを知り、自身で発信できるスキルを身に着けます |
|------|--------------------------------|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | SNSの種類(中西・五十嵐) |
| 2 | SNSの機能・トレンド(中西・五十嵐) |
| 3 | SNSのリテラシーとモラル(中西・五十嵐) |
| 4 | SNSのマネタイズ方法(中西・五十嵐) |
| 5 | SNS投稿テクニック(中西・五十嵐) |
| 6 | ショート動画の特徴とアカウント作成(五十嵐・中西) |
| 7 | ショート動画企画・撮影(石村・五十嵐) |
| 8 | ショート動画編集・投稿(五十嵐・石村) |
| 9 | ショート動画分析・企画作成(五十嵐・石村) |
| 10 | ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐) |
| 11 | ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐) |
| 12 | ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐) |
| 13 | ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐) |
| 14 | ショート動画 撮影・編集・投稿 実習(石村・五十嵐) |
| 15 | ショート動画 撮影・編集・投稿 実習(石村・五十嵐) |
| 16 | ショート動画 撮影・編集・投稿 実習(石村・五十嵐) |
| 17 | 1年間の振り返り・まとめ |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 教科書は無し、都度モニターに映写等をして説明していきます。 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 石村:映像制作会社MADPRODUCTION代表。カメラマン歴20年 中西:株式会社papapa marketing代表。大手企業へSNSマーケティングを中心としたコンサルティング会社を経営。 五十嵐:LEL株式会社にてTik Tok運用代行動画撮影・編集・投稿等の代行を担う。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | ライヴマーケティング I | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶/塩田美月(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライヴスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>コンサート・ライヴビジネス、マネジメント、プロダクションの基本知識を学ぶ。エンタテインメント業界やイベント業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽やイベントエンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界、あたらしいエンタテインメント業界についても知識を学ぶ。</p> <p>前期には「SummerReview」後期には「GrandConcert」に向けての企画・制作・運営計画も含む。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 音楽・イベントエンタテインメントビジネスとは？「音楽・イベントエンタテインメントビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。 |
| 2 | ①アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏) |
| 3 | ②アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏) |
| 4 | ①実際に実施されるイベントへの参加に向けた、イベント企画制作と計画 (ライブポート東氏予定) |
| 5 | ②実際に実施されるイベントへの参加。運営業務を元に実地で学ぶ (ライブポート東氏予定) |
| 6 | ①プロダクションによる講義。プロダクション業務やアーティスト育成・マネジメントについて学ぶ。 |
| 7 | ②プロダクションによる講義。プロダクション業務やアーティスト育成・マネジメントについて学ぶ。 |
| 8 | 【ファンクラブ(サービス)】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。 |
| 9 | 前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト |
| 10 | 後期1回目。前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期の振り返り。 |
| 11 | ①ユーチューバーによるマーケティング講義 チカコホンマさん(予定) |
| 12 | ②ユーチューバーによるマーケティング講義 チカコホンマさん(予定) |
| 13 | ①アーティストマネージャー経験のある講師による、プロモーション知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏 予定) |
| 14 | ②アーティストマネージャー経験のある講師による、プロモーション知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏 予定) |
| 15 | ①実際に実施されるイベントへの参加に向けた、イベント企画制作と計画 (ライブポート東氏予定) |
| 16 | ②実際に実施されるイベントへの参加。運営業務を元に実地で学ぶ (ライブポート東氏予定) |
| 17 | 振り返りのグループワーク・フォードバック等 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | <p>登壇講師 NEWSURPRISE LLC 吉原氏(元コンサルティング会社代表、過去にアーティストマネージャー経験あり) 株式会社ライブポート東氏(現イベント会社代表。新潟県内で多くのイベント事業を手掛ける) ユークリッドエージェンシー石森代表(現音楽プロダクション代表) 吉本興行所属新潟住みます芸人、ユーチューバーのチカコホンマさん</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | ビジネス経営学 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 52 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>簿記のテキストを使用し、仕事に役立つ取り引きの種類、売上総利益、損益分岐点などから精算表を作成し損益計算書及び貸借対照表の見方まで学び、実際の数値入力練習から、知識のレベルアップを図る。また理解度向上の為毎週確認テストを実施 授業展開は自作のPPとテキストを併用</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。 上記確認テスト |
| 2 | 動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。 上記確認テスト |
| 3 | 商品売買の種類、現金と通貨代用証券について① 上記確認テスト |
| 4 | 商品売買の種類、現金と通貨代用証券について② 上記確認テスト |
| 5 | 小口現金の取り扱いについて 上記確認テスト |
| 6 | 手形と貸付金・借入金 上記確認テスト |
| 7 | その他の債権債務、その他消耗品等の費用について 上記確認テスト |
| 8 | 商品有高帳①先入先出法(売上総利益・原価率) 上記確認テスト |
| 9 | 商品有高帳②移動平均法 上記確認テスト |
| 10 | 貸倒れと貸倒引当金① 前期評価テスト |
| 11 | 貸倒れと貸倒引当金② 上記確認テスト |
| 12 | 固定資産と減価償却費① 上記確認テスト |
| 13 | 試算表①/試算表② 上記確認テスト |
| 14 | 法人税・消費税 上記確認テスト |
| 15 | 精算表①(棚卸減耗損・商品評価損についても)/精算表②/精算表③ 上記確認テスト |
| 16 | 損益分岐点説明・練習、グラフ作成 |
| 17 | 資金繰り表作成① |
| 18 | 後期評価試験 資金繰り表作成② |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | <p>スッキリわかる日商簿記3級 授業形態/PPを使用したの対面授業</p> |
| 成績評価 | <p>授業内小テスト40%、期末試験40%、出席率20% S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | イベント企画制作実習 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島 麻耶 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | オープンキャンパス、学校・外部イベント、柳都オレンジスタジアム、キョードー北陸などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの運営を実践を通して学習する。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 2 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 3 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 4 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 5 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 6 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 7 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 8 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 9 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 10 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 11 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 12 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 13 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 14 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 15 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者) |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------------|---|---------|------------------|
| 科目名 | Photoshop検定講座 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 藤崎 哲弥 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 36 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | Photoshop検定の対策講座。 前期では後期の問題集を解くための対策や基本的な使い方を覚えます。 実際にSNS等で見かけるコラージュ等の作品を通してより実践的に面白いツールであることを理解します。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ■イントロダクション Photoshopの紹介・SNS等での使用事例・UI・ショートカットなどの紹介 |
| 2 | ■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。 |
| 3 | ■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。 |
| 4 | ■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。 |
| 5 | ■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。 |
| 6 | ■ネットミームを通して、特殊効果ツールを理解する。 文字、図形等の作成・グラデーションツールを理解する |
| 7 | ■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。 |
| 8 | ■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。 |
| 9 | ■教科書内の出題を解いてみる 基本操作を覚えた上で教科書出題に挑戦・不明箇所を解説する。 |
| 10 | ■実技・実践問題集part1 実技・実践問題へ挑戦。 |
| 11 | ■実技・実践問題集part1 回答解説 |
| 12 | ■実技・実践問題集part2 実技・実践問題へ挑戦。 |
| 13 | ■実技・実践問題集part2 回答解説 |
| 14 | ■休憩・名刺・コラージュ作品を作ってみる 自発的な制作を通して、問題集を解くだけでない実践的な制作・創作感を体感する。 |
| 15 | ■実技・実践問題集part3 実技・実践問題へ挑戦。 |
| 16 | ■実技・実践問題集part3 回答解説 |
| 17 | ■実技・実践問題集part4 実技・実践問題へ挑戦。 |
| 18 | ■実技・実践問題集part4 回答解説・全体のおさらい。 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | Photoshop教科書・問題集 問題集冒頭ページなどに書かれている規定のフォントはダウンロードしておくこと。 |
| 成績評価 | 各作業進捗20%、授業態度および学習意欲80% 授業を重ねるごとにできることが増えていることが大事です。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | ECサイト・WEBデザインの業務に3年従事。 個人でもコラージュ作品を制作してNFTなどを通じた現代的な作品掲示をしている。 |

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|-------|
| 科目名 | メディアプロモーション | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | スワンブ | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 36 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | SWAMP自身のアーティストとしての音楽活動をプロモーション、マーケティングしていく。楽曲のリリース、SNSなど、実際の素材を使用してマーケティングしていく。リリースイベントの企画・制作。レコーディングへの参加や、MVの撮影、グッズ展開など、音楽事業に関わるあらゆる面での企画と制作を実地で行う。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 「自己紹介・プラン発表」講師、生徒同士のコミュニケーションを図り、お互いの可能性を発表する口 |
| 2 | 「自己紹介・プラン発表」講師、生徒同士のコミュニケーションを図り、お互いの可能性を発表する口 |
| 3 | 昨年のライブ映像確認と再編集 4月～5月中旬にアップ |
| 4 | 動画編集、SNSの動画アップについて議論 |
| 5 | 動画編集、アップの日程を決める |
| 6 | グッズについてアイデア出し、動画編集 |
| 7 | グッズについてアイデア出し・企画・動画編集 |
| 8 | リリースイベントのミーティング・企画書作成 |
| 9 | リリースイベントのミーティング・企画・進行スケジュール作成 |
| 10 | レコーディング・プロモーション動画を撮影 |
| 11 | レコーディング・プロモーション動画を撮影編集の為の構成・企画 |
| 12 | レコーディング・プロモーション動画編集と内容についてのディスカッション～修正 アルバムのデザイン案ミーティング |
| 13 | レコーディング・プロモーション動画編集と内容についてのディスカッション～修正 アルバムのデザイン案ミーティング |
| 14 | グッズについて企画 |
| 15 | グッズについて企画・発表・ディスカッション |
| 16 | リリースイベントの実施の為のミーティング・プロモーション |
| 17 | リリースイベント実施 |
| 18 | リリースイベントの振り返りとディスカッション |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | | |
|------|---------|---|--------|---------|----|
| 科目名 | 地方創生論 | | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 齋藤 和利 | | 講義実施時期 | 必修 | |
| | | | 必修・選択 | | |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 34 | 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | | |

授業概要 地方創生論(ふるさと創生とメディア論、社会経済を学び知識教養を養い社会人として実践力を身に

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ●新潟の歴史地理文化・人物を学びニイガタを深く知る、日本の中の新潟県の位置立場を学ぶ |
| 2 | ●新潟の歴史地理文化・人物を学びニイガタを深く知る、日本の中の新潟県の位置立場を学ぶ |
| 3 | ●新潟の街の再生活活性化には何が必要か課外授業の後にレポートを企画・作成 |
| 4 | ●新潟の街の再生活活性化には何が必要か課外授業の後にレポートを提出 |
| 5 | ●メディアとは何かを最新事例等を交えて学ぶ。プロダクション業務についても学ぶ |
| 6 | ●メディアとは何かを最新事例等を交えて学ぶ。テレビ・ラジオについても学ぶ |
| 7 | ●社会人への準備～マナーと一般常識を学ぶ |
| 8 | ●就職の為の知識とテクニックを実践教育する |
| 9 | ●就職の為の知識とテクニックについてフィードバック・ディスカッション |
| 10 | ●現在に於ける社会経済学(生成AI、AGI、経済や投資についての基礎知識)を学ぶ |
| 11 | ●現在に於ける社会経済学(生成AI、AGI、経済や投資についての基礎知識)を学ぶ |
| 12 | ①課外授業について⇒港町新潟巡り、新潟花街巡り、下町巡り、新潟街中探訪、新新潟駅周辺探訪 |
| 13 | ①課外授業について⇒港町新潟巡り、新潟花街巡り、下町巡り、新潟街中探訪、新新潟駅周辺探訪 レポートの作成と提出 |
| 14 | ◎課外授業について⇒新潟放送局各局巡り、行形亭、鍋茶屋、大橋屋、美術館、歴史博物館、文化の記憶館) |
| 15 | ◎課外授業について⇒新潟放送局各局巡り、行形亭、鍋茶屋、大橋屋、美術館、歴史博物館、文化の記憶館)レポートの作成と提出 |
| 16 | ◎新潟資料映像や音楽ビデオなども活用し視聴学習をしてレポート提出あり |
| 17 | ☆学生へアンケートをして学びたい授業リクエストに答えて講義する。 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | 其々の授業で資料・ビデオ・DVD等を用意する |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | ・BSN新潟放送 常務取締役営業本部長、BSNWAVE代表取締役社長、会長 ・県内大学等で特別講義の経験あり |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | ライブプロモーションⅡ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 椎葉克宏 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサートライブスタッフ&アーティストマネージャー |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 現在日本の音楽ビジネスはライブが牽引してきましたが、その流れは今後も続くと予想されます。この授業ではそうした音楽業界の流れに適應できるよう、ライブプロモーションの仕組みを理解することをめざします。プロモーションの手法を身につけることで、それを自らの強みにしてください。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|-------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 【音楽業界のあゆみ①】 音楽ビジネスの過去 |
| 2 | 【音楽業界のあゆみ②】 ライブに支えられている現在の音楽業界 |
| 3 | 【音楽業界のあゆみ③】 自分たちより下の世代は何を考えている？ |
| 4 | 【ヒットとはなにか？①】 80年代のCity Popが注目される理由 |
| 5 | 【ヒットとはなにか？②】 90年代プロデューサーの時代の音楽 |
| 6 | 【ヒットとはなにか？③】 2010年代K-POPが日本にもたらしたもの |
| 7 | 【ヒットとはなにか？④】 配信系アーティストはなぜ増えたのか？ |
| 8 | 【必要とされる人材①】 ライブの現場を見てみよう |
| 9 | 【必要とされる人材②】 ライブビジネスと法律 |
| 10 | 【必要とされる人材③】 コミュニケーションの方法 |
| 11 | 【必要とされる人材④】 コンプライアンスとは何か？ |
| 12 | 【アーティストと共に①】 アーティストのセルフマネジメントとは？ |
| 13 | 【アーティストと共に②】 プロモーションとは何か？ |
| 14 | 【アーティストと共に③】 プロモーションの種類 |
| 15 | 【アーティストと共に④】 適切なプロモーションの方法 |
| 16 | 【アーティストと共に⑤】 アーティストのリスクについて |
| 17 | 講義の振り返り |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／遠隔授業 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 株式会社コロンブスコミュニケーションズ入社(S60年4月～S61年10月) 株式会社勁文社 ビデオ事業部(S61年10月～S62年3月)「月刊デ・ビュー」副編集長(H5年1月～H8年1月) オリコン株式会社に転籍 「キッズスタイル」事業部長(H14年7月～H19年7月)「オリジナルコンフィデンス」兼任編集長 令和2年4月 京都芸術大学映画学科、昭和音楽大学音楽表現学科、日本経済大学芸創プロデュース学科、代々木アニメーション学院の非常勤講師として勤務 |

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | |
|------|-------------|---------|-------|
| 科目名 | 雑誌編集・情報発信基礎 | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 風間彰充 | 講義実施時期 | 前期 |
| | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | 対象コース | |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>情報誌、ウェブというメディアの役割を理解し、それらが作られ、世の中に情報を発信するまでの一連の流れを学んでいく。また、新潟という地域におけるローカル雑誌やウェブメディアの重要性を学び、情報を発信することでユーザーの行動を促すことや、それ自身が地域を活性化させていく仕事の一端であることを理解してもらう。1回の講義では、基本的に1コマは座学、もう1コマでは実際に雑誌やウェブ記事の制作に必要な業務（企画・取材・インタビュー・写真撮影・原稿作成・校正等）を</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 【イントロ】→講義の概要、目的を説明 【雑誌・ウェブメディアの基礎知識】→どうやって成り立っているかを知る |
| 2 | 【雑誌・ウェブメディアの役割】→雑誌メディアのニーズや世の中における役割などを学ぶ |
| 3 | 【雑誌・ウェブメディアができるまで】→雑誌が作られるまで、情報が発信されるまでの流れを学ぶ |
| 4 | 【雑誌・ウェブメディアの企画・特集などの立案について】→「雑誌の企画や特集記事などはどのようにして作られるのか？」読者のターゲティング、そのニーズやトレンドに合わせた企画立案を学んでいく |
| 5 | 【実践】→雑誌のコンセプトや特集などを決める企画のディスカッションをやってみる |
| 6 | 【具体的なページコンテンツ出し・取材候補策定】→「具体的な特集やページのコンテンツはどのようにして作られるか？」雑誌のコンセプトに沿って、具体的なページを想定していく |
| 7 | 【実践】→「実際に何を掲載するか？」をディスカッションする。そしてページコンテンツ出し・取材候補をリストアップしていく |
| 8 | 【取材について】→「実際の取材はどのようにして行われているか？」アポイントの基本、取材相手から大事な話を引き出すにはどうしたらよいか？ |
| 9 | 【実践】→インタビュー。テーマを決めて、交互にインタビューをする |
| 10 | 【原稿書きについて①】→「原稿を書く時の基本とは？」説得力のある文章の書き方。分かりやすく、メッセージを伝える方法など 【実践】→実際に原稿を書いてみる |
| 11 | 【原稿書きについて②】→雑誌とウェブにおける書き方の違い 【実践】→実際に原稿を書いてみる |
| 12 | 【原稿書きについて③】→雑誌とウェブにおける書き方の違い 【実践】→実際に原稿を書いてみる フィードバック |
| 13 | 【写真撮影について①】→「雑誌やウェブにおける写真の重要性と、その基本とは？」どんな写真がよいのか？ 写真が持つ意味、よい写真の基本的な撮り方を学ぶ |
| 14 | 【実践】→可能な限り、カメラで撮影をする |
| 15 | 【写真撮影について②】→スマートフォンを使い、街に出てカメラで撮影をする |
| 16 | 【前期のまとめ・実践】→前期の学びを踏まえ、テーマを決めて実際に取材や写真撮影、原稿書きを行う |
| 17 | 振り返り・フィードバック |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | 毎回、資料を用意する |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 新潟の情報誌「月刊にいがた」および、新潟のローカルWEBメディア「月刊にいがたWEB」を発行・運営する株式会社ジョイフルタウンの業務推進部 副部長。編集ディレクター、インタビュアー、ライター、カメラマン。 |

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | デジタルマーケティング | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 小野 憲人 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 34 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | インターネット時代に音楽アーティストに関わるうえで、必要となる考え方、ツールの活用法、事例から効果的なプロモーション方法などを学ぶ。また、デジタル時代における最低限の音楽ビジネス知識・著作権の考え方などについても学ぶ。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション。マーケットの現状と、インターネット時代に考えなくてはならないこと アルゴリズムの考え方 |
| 2 | 目標発表。学生運用のサマーレビュー&Grand Concertアカウントの現状の課題の洗い出し |
| 3 | 音楽ストリーミングサービスについて。仕組みとビジネスの仕組み。ディストリビューターの役割 について |
| 4 | どう知ってもらうか？何をどう伝えるか？ |
| 5 | 「知ってもらい、聴いてもらう」ための運営 キャンペーンなどリリースやイベントに向けたプランニング1 |
| 6 | リリースやイベントに向けたプランニング2 |
| 7 | アナリティクスの活用1 |
| 8 | アナリティクスの活用2 ショート動画プラットフォームへの向き合い方 |
| 9 | 前期授業の振り返り。中間試験 |
| 10 | 上期試験振り返り サマーレビューアカウント運用の振り返り |
| 11 | Twitter (X) 「拡散の科学」 |
| 12 | 音楽サービスとしてのYouTube |
| 13 | 【インターネット時代の権利ビジネス】 原盤権と著作権 |
| 14 | 【インターネット時代の権利ビジネス】 YouTube ContentIDと許可リスト |
| 15 | 【インターネット時代の権利ビジネス】 楽曲をカバーしたいとき、どうすればよい？ |
| 16 | アカウント運用についてのディスカッション |
| 17 | 下期授業の振り返り。期末試験。 |

| | |
|---------------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業 参考講座：IMCJ Independent Next 2023, YouTube Artist Meet 2023 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | タワーレコード(株)レーベル制作部、(株)onepeaceにおいて、音楽アーティストのA&Rと、楽曲のデジタルディストリビューション、SNS運用を経験。その後フリーランスとなり、レーベルやマネジメント事務所に対してSNSを活用した音楽アーティストのプロモーションのサポートに従事。 2021～2023年の間、新潟で柳都アーティストファームにてRYUTistを運営。SHOW!、i-MEDIAの非 常勤講師も担当。 |